

冬の自然体験

スノーシューを使っての冬の森林散策（学習指導案）

授業計画例 冬の森を歩こう

1 単元名「冬の自然を体験しよう」

2 本時のねらい

- スノーシューを使って冬の森に入り散策し、冬でも生きる動植物の観察をとおして、自然の雄大さ偉大さを感じるとともに、自然を守るために自分たちにできることを考える。

3 活動の流れ

学 習 内 容	時間	○支援 ・ 配慮事項 □評価
1 学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">冬の森を歩き、自然について考えよう。</div>	5	○ 本時の活動とねらい、「森の案内人」の存在を伝える。
2 「森の案内人」の説明を聞く。	15	○ 教師は、「森の案内人」の紹介をする。 ・ 専門用語等、児童が理解するのに難しいと判断した言葉については、補足説明を入れる。 ・ 危険が伴うことも確実に知らせ、教師または案内人の話をしっかり聞くように指導する。 ・ スノーシューのつけ方、双眼鏡の使い方については、現物を持たせながら説明する
3 冬の自然散策をする。	50	・ 安全に踏破できるよう、適宜児童に声かけをする。 ○ 動植物を発見した場合は、事前の調べ学習を想起させることで、学びをより深いものにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">冬の自然の雄大さを感じることができる。(観察・つぶやき)</div>
4 感じたことを話し合う。	10	○ 感動をダイレクトに伝えられるよう、児童から発せられた言葉を拾い上げる。 ・ 自然の雄大さを感じることから、自然を守ることにつながるよう、話し合いをコーディネートする。
5 本時のまとめをする。	10	○ 見たり、感じたりした美しいふるさとの自然を守るために、自分たちにできることを考えさせる。 ・ 案内人にお礼を言わせる。